

## 日本疲労学会出張報告

5月30(金)、31(土)日に大阪にて開催された第10回日本疲労学会に出席、演題発表してきました。

積極的に質疑に加わり、また、懇親会でも多くの方々と情報交換することができました。

慢性疲労症候群の原因が筋痛性脳脊髄炎による中枢神経系の調節異常であるとの認識が着実に進行しているような印象でした。

循環器的調節異常（特に起立時の調節障害）が本疾患の中核症状であるとの認識が、臨床家や研究者の間で定着していくよう更に頑張りたいとの思いを強めました。

学会前日の5月29日(木)には西宮にて講演「循環器医が見た慢性疲労症候群(筋痛性脳脊髄炎)」を行いました。

会場の西宮保健所は満席となる盛況で多数の方のご出席を頂きました。

菌潤所長をはじめとした関係の方々の手際の良い準備の良さには感謝しています。

近隣の医療関係者のみへの案内だったにもかかわらず、多くの医師、医療関係者の他、患者の方やその家族の方も多数、出席され、また、西宮市議会議員さんも来場し最後まで熱心に聞いていらっしゃいました。

西宮では本症に対する患者支援を政府に求める決議が出ているようです。

質疑応答も皆さん非常に熱心で、終了後の情報交換、意見交換にも充実した時間を費やすことができました。

御主人の支えがないと歩行にも難渋する女性患者さんも出席されていました。身体障害者の認定を受けていらっしゃるそうです。

本疾患の認知度を高める上で大きなインパクトを与えていました。

当クリニックへの新たな受診希望もあり、既に県外から多くの受診者を受け入れておりますが、今後も更に増加していくと思われまます。

本疾患の診療に携わる臨床医として、研究者として、少しでも患者の方々の方々の病状を把握、

理解し、社会的啓蒙、認知度を深め、支援の力となれるよう、また治療を少しでも前進させるよう、より一層頑張りたいと思いました。

実りのある学会出張でした。

なお、6、7月は休診予定はありません。

院長